

慶進高等学校の「今」をつたえる

The Keishin Times



02

VOL.2 TOPICS

- 02 慶進祭
- 03 勉強合宿／萩行路
- 04 チーム慶進という誇り
- 05 還ってきた慶進生
- 06 慶進の小窓

「慶進」という誇りと自信それは慶進生の「根性」の根源

先日、とある雑誌を眺めていると、川口純一郎氏の手記を見つけました。氏は、昨今話題の小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェクタマネージャーを務めた人物です。「根性で翔んでくれました」の見出しに誘われ読み進めると、「はやぶさ」の制作秘話が綴られています。しかし、そこで語られるのは「はやぶさ」ではなく、実は彼自身の「根性」でした。中学生の時から情熱と積み重ねが、彼に成功をもたらしたのです。

この話に、今年の慶進祭の成功が重なるようにみえてきます。慶進

生は、初めての三日間開催に挑み、見事成功させました。紛れもなく慶進生の「根性」が成功をもたらしたのです。そして、卒業した慶進生の積み重ねが、彼らを支えていました。使い古された「根性」という言葉、しかし今でもこの「根性」をみせることで、多くのものを積み重ねています。自身の目標のため、自己を律して頑張る「根性」が、慶進を高みに引き

上げるのです。

手記の最後で、「根性を養うのは、日本人としての誇りであり、自信」と氏は述べます。慶進生も同様です。慶進生としての誇りと自信が、慶進生の「根性」を養ってくれます。

そこで、本号では、慶進生の「根性」の源として、慶進が積み重ねてきた誇りと自信を伝えたいと思います。

慶進高等学校

〒755-0035

山口県宇部市西琴芝2丁目12-18

☎ 0836-34-1111 ㊚ 0836-21-7228

ks@keishin-ug.com

Go Higher!!

～さらなる高みへ～



生徒会長
Aoi 河崎遼大くん

「私たち人間は、歳をとるほど、時間の感覚が薄れていきます。同じ一日でも、三歳と四十歳では感じる長さや大きな差が出ます。様々なことを学び、経験する高校生活は人生の中でも特に濃い時間といえます。この慶進祭では、限られた期間の中で、最高の慶進祭を作り上げるために、学校全体が一丸となって取り組みました。私は生徒会長としてこの慶進祭を通して、最高の仲間と最高の思い出を作ることができました。これから私は歳をとり、様々な苦難にぶつかるでしょうが、この慶進祭で得た思い出は、そんな苦難に打ち勝つための、大きな力となることでしょう」(慶進祭 エンディングのスピーチより)



▲慶進祭 ステージの様子

2010年度慶進祭は、6月18日・19日・20日の初の三日間開催でした。生徒会を中心に慶進生は、上記見出しのスローガンの下、三日間という「さらなる高み」を、そして後輩に残す新しいステージを作るために、チャレンジし、見事に成功を収めました。(慶進祭の詳細は本校HPをご覧ください)

進



▲慶進祭 理科実験の様子

当たった!! 新企画 ミニゲーム

二日目は、生徒会企画ミニゲームを開催しました。これは各ゲームにランキングを設けて、ランキング上位者のクラスに、順位に応じてポイントが加算されるものです。新企画で、少し不安な部分もありましたが、慶進生が自分のクラスのために張り切って参加し、非常に盛り上がりつつある姿を見ると、大変だったけど頑張った良かったなと思います。



クイズラリア担当
GIII 石井 玲さん

苦勞が実りをもたらす

この戦いでした。生徒会によるアンケートの結果を基に今までは違った慶進祭を作りあげようとスタートし、企画を練り上げました。最大の課題は、「準備時間がもっと欲しい」という慶進生のアンケート結果でした。これは自分自身の課題でもありました。この課題を完全に解決できなかったのが心残りですが、そんな中で、三日間開催を成功に終わらせることが

できました。様々な面で慶進生のみなさんをはじめ、たくさんの方々の協力を得ることができたからだと思います。そして、後日、慶進生から「疲れたけど、すごく楽しかった」という声や、外部の人から「慶進生が活き活きしていた」という声を聞くたびに、自分たちも慶進祭のために頑張ったことがあったと思いました。

三日間くれたもの

AI 重田 侑女さん

慶進祭で、私のクラスは映画上映をすることになりました。映画を作るのは予想以上に大変で、毎日、放課後にクラス全員が残って撮影をしました。國重先生や工藤先生にも手伝ってもらい、全てを撮り終えたときは、何とも言えない達成感と嬉しさがありません。さらに、この映画撮影をきっかけに、クラス全員の距離が縮まった気がします。本当に楽しい三日間でした。そして、楽しさだけでなく、多くのものを得ることができたような気がします。これを活かして、今後も頑張っていきたいです。



▲慶進祭 お祭り広場の様子

祭

勉強合宿

六月二十四日から二十八日の四泊五日の日程で、アドバンスコース一年生がセミナーパークで実力強化合宿。いわゆる勉強合宿をおこないました。慶進生になって三ヶ月、そしてこの勉強合宿で大きく成長したことでしよう。

AI 松本 侑也くん

今回の合宿は、私を大きく変えました。以前は学習机に座ることに気が乗りがせず、勉強にも集中して取り組むことができなかった私ですが、合宿後は勉強への抵抗が減り、集中できるようになりました。また、五日間勉強し続けたことで、自分に自信が持てるようになり、忍耐力もついたと感じています。そして何よりも今回の合宿で、互いに助け合い、協力しあう協調性の大切さを学びました。勉強はもちろん、社会に出る上で必要な皆さんのことを身に付けたと思います。

AI 本田 春奈さん

セミナーパークに着いてから、いきなり授業が始まることには驚きました。そして二日目からはもうテスト、テスト…。就寝する時間も夜二時、三時と肉体的にも、精神的にも疲れた四泊五日でした。そんな中、本気になってやればここまで頑張れるんだ、ということがわかったのが、合宿一番の収穫でした。入学から三ヶ月が経とうとしていた頃にやっていたこの合宿。怠けがちになっていた勉強に対し、再び気持ちを引き締めることができました。合宿で学んだことをふまえて、これからも頑張りたいと思っています。



▲勉強合宿の様子



▲左から本田さん、前田先生、松本君

教師の視点

実力強化合宿。一期生から九年間続いている伝統の行事だ。毎年、何かしらの進化を続けている。今年の進化は男女別のクラス編成であった。毎日行われるテストで、男女別のクラスで競い全員が結果に喜びや落胆の声をあげた。生徒がお互いに励ましあい、やる気を高めあう姿を目の当たりにした。これがアドバンスの力だと実感したよい合宿だった。

前田 一郎先生

友とゴールを目指して

歩

教師の視点

萩行路を歩く中で、慶進生は自分と戦いながら己を成長させてくれた。最初は歩くことに対して抵抗感を持つ生徒もいた。だが、終了後、自分の持てる力を全て出し切った生徒たちの顔を見ると、やり遂げた満足感に満ちあふれていた。何事もやってみなければわからない、「Go for it!」の精神の大切さを生徒も教師も感じることでできた萩行路だった。

武重 剛先生

み始める合格への道



▲「萩行路」の様子

GI 中村和泉さん

宿泊研修に続き、大きな行事がこの「萩行路」。学年別の班ではなく、話したことのない先輩とも同じ班編成で、最初は不安でいっぱいでした。しかし、歩いてみると先輩がやさしく接してくださり、安心して嬉しかった。

GI 細川貴範くん

僕たちは、スタート地点につくと、さっそうと歩き始めました。話



▲左から細川君、武重先生、中村さん

昨年度末、グローバルコースではフィロスウィークと題し、萩往還を歩く行事を企画しました。学年・クラスをまたぎ編成された班で、調べ学習を行い、長い距離を歩くことで、コミュニケーション能力を高め、他者への思いやりを学ぶ企画でした。しかし、天候のため、残念ながら歩くことができなかった萩往還を、今回「萩行路」として、実施することができました。

萩行路

です。歩いても歩いても終わらない上り坂は、体力的にも精神的にも苦痛でした。仲間や先輩方が一緒にいたからこそ最後まで歩くことができたと思います。一人では乗り越えることができなかった、仲間がいれば乗り越えることができるという「萩行路」で得た経験は、「部活」でもいえることです。みんなが支えながら戦うことで勝利がつかめると思います。この経験を、私は、これからの学校生活でも活かしていきたいと思っています。

しながら歩くのは、楽しかったです。しかし、山道は登り、下りが激しく、足場ががたがたで歩きにくく、暑さと疲労もあり、とてもきつかったです。そして、撮影ポイントの「落合の石橋」で写真を撮り、また歩きます。最初は、みんなただ歩くだけなのに、何の意味があるのかと疑問に思っていました。しかし、ゴールしてみると、みんな一緒に歩いたことで、仲間意識が強くなったと感じました。

「チーム慶進」だからいい

慶進には様々な部活があります。その部活を応援したり、されたりするのはどんな気持ちなのでしょう。野球部キャプテン篠田誠くん、バスケットボール部キャプテン橋本明奈さん、サッカー部キャプテン佐藤司君、そして部活に所属していない慶進生の代表として、生徒会活動委員長の佐藤ちひろさんに集まってもらいました。

慶進では各部活が他の部活の応援に行く様子をよく見かけます。他の部活を応援するときは、どんな気持ちですか。

佐藤司 先日野球応援に行きました。野球をしたことはありませんが、野球部が頑張っているのを見ているから、ヒツトがでると自然とガッツポーズが出てしまいます。素直に嬉しいですね。自分の仲間が活躍しているのが嬉しいですね。

篠田 プレーしている所をみると、これまで流してきた汗の量を感じて、輝いているのがわかり、こつちも輝くために頑張ろうという気持ちになります。

佐藤さんはどうですか。

佐藤ち 先日バレー部の応援に行きました。自分分は中学生の時にバレーをやっていたので、見てて楽しかったし、試合前に校歌を歌ったときは感動しました。

なぜ応援する気持ちになるのでしょうか。

佐藤司 がんばってない部活を応援する気持ちにはなりません。が、野球部やバスケット部など多くの部活がいつも頑張っているから応援しようと言う気持ちになります。

篠田 サッカー部も頑張っているよ(笑)

では、応援してもらうときはどんな気持ちですか。プレッシャーは？

篠田 確かに期待に応えなければいけないという気持ちもあります。

さらにテレビ中継が入り、すごい緊張しました。でも、負けたけど、最後まで応援してくれたことがすごく嬉しくて、感謝しました。プレッシャーもあるけど、応援されると頑張ろうという気持ちになります。

誇

最後に、応援する側、される側からメッセージをお願いします。

が、純粋に嬉しいですね。味方がいっぱいなので気持ちいいです。サードコーチに立った時、プレーしている人とアルプスにいる人を一緒に見たら、鳥肌が立ちました。みんなの必死な顔を見て、感動して泣いてしまいました。

橋本 去年のインターハイ予選の決勝で、みんなが応援に来てくれて、

援したくなるようなチームを作っていくので、応援よろしくお願いします。

佐藤ち 部活生は普段の生活もすごいきつくりしているし、練習を遅くまで頑張っていて、ほんとにすごいと思っています。生徒会もそれを見て頑張ろうという気持ちになるので、頑張ってください。

From the Locker Room vol.2

「冬にかけるサッカー部の誇り」

インターハイ予選の準決勝、慶進高校サッカー部は0-1で破れた。スコアだけを見ると、惜敗といえるかもしれない。しかし、試合内容は決して褒められるものではなかった。試合後、一人の選手が口にした。「自分たちの悪い所が全部出た」と。それがすべてだった。チーム全員の思いだった。そして、彼は言葉を続けた。「選手権があってよかった。この悔しさのまま終わらないですむ」と。今、チームは武重監督を中心に、原点に返ろうとしている。ハートのあるサッカーを、感動を与えるサッカーをしたい。何より好きなサッカーをしたい。そして、負けたくない。懸命に頑張る彼らの姿に、2年前に選手権予選決勝のピッチに立った先輩の姿が、重なりつつある。ユニフォームに刻まれた「慶進」の誇りにかけて、彼らは成長していくだろう。

「チーム慶進」の一人として、我々は応援していきたい。

運動部 (主な成績のみ記載)

サッカー部

山口県高等学校総合体育大会 第3位

バスケットボール部(男子・女子)

男子：山口県高等学校総合体育大会 ベスト16

女子：中国高等学校バスケットボール選手権大会 準優勝

山口県高等学校総合体育大会 第3位

バレーボール部(女子)

山口県高等学校総合体育大会 第5位

水泳部(男子・女子)

中国高等学校選手権水泳県予選会 第6位

(中国大会出場)

山口県高等学校総合体育大会

400m個人メドレー 第1位(中国大会出場)

ソフトテニス部(女子)

山口県高等学校総合体育大会 団体・個人優勝

(インターハイ出場)

陸上部

山口県選手権 800m 第7位

(中国選手権出場)

文化部

バトン部

全国高等学校総合文化祭 出場



▲左から篠田誠くん、佐藤司くん、橋本明奈さん、佐藤ちひろさん



▲「日本一」の目標を掲げた現チームの結成式(風邪予防のため、全員マスクを使用)

慶進に還ってきた今だからこそ、みえること、わかること

三期生が教育実習生として、慶進高校に還ってきました。今の慶進をみて、三期生は何を思うのでしょうか。國重先生(アドバンスコース卒)、岡村先生、坂本先生、澤野先生(グローバル卒)に集まって頂きました。

高校時代の思い出を教えてください。

岡村 修学旅行と部活の練習です。

坂本 私はバトン部で、国民文化祭のパレードを先導したことです。

國重 毎日が楽しかった(笑)。特に慶進祭では、みんなとわいわいできて楽しかったですね。

澤野 私は野球応援です。三年生の時に初めて野球部が選手権大会地区予選に出場しました。私は吹奏楽部だったので、応援の曲を一曲一曲楽譜におこしたことが、すごく思い出に残っています。

志望進路はどのように決定しましたか。

坂本 まず山口が好きというところ。そして、英語の勉強の中で、日本語がおもしろいと思い、日本語について、言語について学びたくなりました。それで、文学部に決めました。また、国語教師という夢が芽生え、そこで、山口大学人文学部を志望することになりました。

國重 数学の教師になりたいという夢から、理学部か教育学部

に絞りました。また、一人暮らし

はしたいが、家から遠く離れたくなかったので、広島大学が九州大学を選びました。そして、教育学部よりも、数学をもっとやりたいという気持ちがあり、九州大学理学部を志望しました。

どんな大学生活を送っていますか。

岡村 楽しい(笑)

坂本 もう四年生なので、授業はほとんどなく、学校では卒業論文に取り組んでいます。そしてサークルでよさこいをやっているの、最後の一年も楽しもうと思っています。

大学ってこんなところというのを慶進生に伝えてください。

國重 自由と責任。高校のように先生から言われないので学校に行かないのも自由なんです。でも後々困るよ、責任持つて行動した方がいいですよ、と感じます。

慶進で学んだことが役立っていますか。

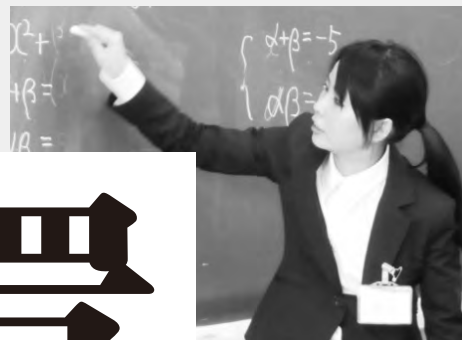
坂本 部活を三年の十一月までしましたが、勉強も頑張つて順

位を落としませんでした。それで文武両道というのが、やればできるとわかったことです。その経験があるから、大学でもよさこいを一生懸命がんばり、単位をいっぱい取つて、文武両道で頑張ることをできました。

慶進生をみて、君たちの頃と、同じ所・違う所はありますか。

岡村 グランドができたこと。すごい設備でうらやまします。

還



PROFILE

【写真右上】國重恵美子 先生
A卒・九州大学理学部在学

【写真左上】岡村太郎 先生
G卒・静岡産業大学経営学部在学

【写真右下】坂本真実 先生
G卒・山口大学人文学部在学

【写真左下】澤野彩花 先生
G卒・岡山理科大学理学部在学

いですね。
國重 昔よりもまじめになった感じがします。私たちは怒られてから動いていたけど、今はみんなすごくピシッとしています。挨拶もやばいくらいすごいですね。

岡村 生徒がすごく元気がいい。僕たちは騒がしくてやんちゃな元氣って感じだったんですけど、今はまじめな元氣という感じです。

最後に慶進生にエールをお願いします。

坂本 やっぱ楽しんで欲しい。高校生活を充実させて欲しい。充実というのは難しく、自分が頑張ったという気持ちと、その頑張りに結果がついてきて初めて充実感がでてる。その充実感を三年間で味わって欲しいです。頑張ってください。

恩師からひとこと



三年間数学を教えた國重先生が、大学で数学を学び

レベルアップして、還ってきました。教師として一番うれしいことです。小柄な彼女が生徒に見やすいように黒板の一番上から書くために懸命に背伸びをしている姿がほほえましく、共に学びあえた三週間でした。



教師の卵として、それが懸命に授業にホーム

ルームに取り組んでいました。その成長した姿をみて、頼もしく思いました。彼らは慶進で将来の夢を見つけ、その夢を叶える為、今、ひたむきに努力しています。在校生のみなさんも自分の進むべき道を決め、その夢を叶える為の努力をしてください。

慶進の小窓

Vol.2

この小窓を開ければ、常盤公園が見える。あの小窓を開ければ、第一グラウンドが見える。慶進にはそんな小窓がたくさんあります。でも、きっと慶進を見るための小窓もあるはず。そんな小窓を紹介するコーナーが、この「慶進の小窓」。第二回の「小窓」は、「情報総合実習センター」、通称「センター三階」です。他の多くの教室と同様に授業で大きな効果を発揮する「センター三階」ですが、授業以外にも大きな役割を担っています。慶進生が安らぎ、成長する、そんな「小窓」の風景です。

情報センター三階



「昔は生徒が集まる空間があれば良かった。しかし、その後、パソコンが求められ、今はWebにつながっていないといけない。でも、それをここは全て満たしている。」「センター三階を管理している情報科の大本浩先生の言葉です。授業以外にもセンター三階に慶進生が集まります。長していきます。」



▲「センター三階」で生徒会が作成した「先生あてクイズ」の様子 ▲センター三階の様子

僕たちは「センター三階」のこの教室で、情報の授業を受けています。その情報の授業の中で最も心に残っている授業は、クラス全員で「ミスター・インクレディブル」のメイキング映像を見ながら受けた授業です。わずか九十分の映画の中に様々な人の考えが組み込まれていることを知り、感動しました。また、慶進祭では、各クラスの個性詰まったCMを上映する場所として使用されます。全部で四十台のパソコンを使用して、それぞれがみたいクラスのCMを見ることが出来ます。保護者や慶進生がCMを楽しそうにみている。僕は今でも覚えています。このように「センター三階」は授業だけではなく、慶進生の思い出を見ることが出来る場所でもあります。

森川俊輔君

Shunsuke Morikawa

生徒会
生徒総務
委員

8.18

WEDNESDAY

GUIDANCE 2010 in SUMMER
慶進高等学校 学校見学会
8:45~12:00

OPENING

今日から始める高校入試対策

高校の入試は難しいの？勉強の「コツ」教えます。

慶進の授業ってこんなに？！

奥が深い、おもしろい、わかりやすい、やる気になる！！

慶進ギャラリー

慶進生が語る、見せる、ナマの声、ナマの姿にふれてみませんか？

休憩コーナー 冷たい飲物ご用意しています。

ENDING

10.9[土]・10.23[土]・11.3[水・祝]も見学会を行います！

※いずれも8:45~

毎週金曜午後5時~FMきらら80.4hzで放送中

第2回

Keishin Radio Station

慶

進生のゲストの方やナビゲーターの松原や田中先生のマイクの音量、音楽をながすといった役割を担うミキサー室から番組を楽しませていただいております。

番組では慶進中学校・高等学校のイベントや様々な取り組みなど、詳しく聞くことができます。

個人的には、「あの先生のあの一言」というコーナーが気に入っています。一週間の学校生活の中で飛び出した先生方のおもしろい発言や、感動の一言が生徒の

あんなさんの投稿によって紹介されるコーナーですが、生徒のみなさんと先生方の密な関わりやあたたかい雰囲気、伝わり、こちらにも楽しくなります。

そして、ミキサーを担当している私にとって一番力が入る仕事、田中先生の声にしっかりとエコーを効かせる！これからもしっかりと頑張ります(笑)。

ナビゲーターの二人の息ピッタリのトークにも注目です。

オッチーこと越智園美

FM
Community FM Station
80.4